

第1回 20世紀都市遺産セミナー

「静岡・清水の マスタープラン立案過程とその後」

今回は 20世紀都市遺産の候補の 1つである静岡・清水の戦後の「静清地域都市開発基本計画」をテーマとし、丹下健三研究室(当時)の助手として計画立案に携わった渡辺定夫氏を招聘し、当時の状況についてお話をいただくと共に、現在の都市形成の実態などについて東京大学都市デザイン研究室より話題提供し、20世紀都市遺産の概念構築に寄与する議論を展開する。

2014/6/18 wed. 18:00-

場所：東京大学本郷キャンパス工学部 14号館 222

参加方法：申込み不要・入退場自由

連絡先：kodama@ud.t.u-tokyo.ac.jp (児玉)

ゲスト：渡辺定夫 氏

【都市プランナー・(株)都市計画研究機構主宰・東京大学名誉教授】

ゲストプロフィール

渡辺定夫（わたなべ さだお）：

東京大学都市デザイン研究室(旧都市設計研究室)第3代教授。1932年東京生まれ。56年東京大学工学部建築学科卒業。73年東京大学工学部助教授。84年同教授。93年退官、同年名誉教授。主な作品としてスコピエ都心部再建計画、日立駅前再開発事業、幕張ベイタウン事業など。主な著書に『新建築学体系 17 都市設計』(彰国社)、『新しい都市居住の空間』(放送大学教材)、「今井の町並み」(同朋社出版)、『アーバンデザインの現代的展望』(鹿島出版会)など。

■20世紀都市遺産とは？

私たちは、日本全国の都市を総覧しつつ、20世紀に創出された都市空間で評価すべきストック=「20世紀都市遺産」という概念を構築し、今後の都市ストックの評価と継承を理論化することを目指しています。このセミナーでは、20世紀の都市形成に深く携わってきた有識者を招き、蓄積した知の共有を図ると共に「20世紀都市遺産」の価値の確立に向け、幅広い議論を行っていきます。